

自由意見

〔1〕市民意識調査

問 27 近江八幡市の男女共同参画社会づくりのための施策や事業について、自由に記入してください。

＜家庭・子育て・介護＞

●保育園や学童等に子どもを安心して預けられる環境の充実や、子育てと仕事を両立できる働き方を求めるご意見がありました。また、男性の育児への参画が進みつつある一方で、いまだ女性に家事・育児負担が偏っている現状や、育児・介護と仕事を両立できない・あきらめざるを得ない状況を改善してほしいとの声もありました。

【ご意見】

・育児サービスの他に家事サービス等も模索してみてもどうか？ベビーシッター、緊急時のお迎え等のサービスなど扶養控除の年収枠の撤廃（健康保険、年金含む）それらの減収分を税金で還付できないか。それらが出来れば女性はもっと社会に出ていけるはず。（男性.40代）

・子育て世代には小学・中学・高校生等が行ける児童館が多数あれば色々学校以外の事が学べるのでは。高齢者には自由に行ける建物があれば情報交換の場に成りえるかも（動ける高齢者の為）（女性.70代）

・保育施設で働いているが自分の子育ての時期より父親の参加がとて多く感じる。家庭でのバランスが保たれていると子どもの健やかな成長にも繋がっていると感じる。自分は子育て時期に仕事をもたなかったが、今になると当たり前のように妊娠で仕事を辞めた事がもったいなく思える。当たり前の思い込みがなく、仕事を続けていたら…家庭内でも引け目なく今も過ごせていたのかもしれないと思う。政府が進めている誰でも通園制度は施設の負担にならないようにだけ考えて欲しい。（女性.40代）

・①保育園に希望する人は全員入れるようにしてほしい②病児保育を充実させてほしい③高学年の児童も学童に入れるようにしてほしい

主婦の方を多数雇用する立場です。保育園に入れるか見通しが立たず、職場に迷惑がかかるのを気にして退職する女性が多いです。また保育園に入れても結局体調不良でお迎えコールが多発して、実際には勤務が出来ず仕事を諦めるケースもあります。父親が迎えに行くことは減多にありません。どうにか就労を続けたケースでも小学4年生頃に学童落ちで、勤務が出来なくなります。兄弟がいる場合は下は学童、上は在宅で両方の対応が必要になり更に困難があるようです。女性の意識云々ではなく、環境さえ整えば勝手に男女共同参画は進むと感じております。近江八幡は県内でも保育園に入れにくいことで有名だと主婦の方たちがいつも仰っています。早急に改善されることを期待しています（女性.30代）

・共働き家庭ですので、現在保育園に子どもが預けられる時間は16時までですが、18時まで延長できればありがたいです。（女性.40代）

・私は特に子育てについて関心があります。男女ともに子育てをしながら安心して働くためには、社会全体の仕組みが変わらないといけないと思います。アンケートに挙がっている内容だけでは、子育て世代だけが手厚い支援を受けられることになります。ほかの世代の健康や幸せも大切にする必要があります。そのため、子育て世代が育児休暇をとっても、同僚に仕事の負担が回ってこない会社組織の構築などが必要と考えています。近江八幡からそういうモデルを発信してほしいです。(女性.40代)

・特に子育てにおいて、子供が病気で園や学校などを休む場合、母親が休みをとる事があたりまえになっている。父親が休むことができたり、病児保育を増やさないと子供が小さい間はいつ病気になるかわからないので正規雇用をあきらめざるをえない現状があります。(女性.40代)

・子育てのために離職したら、復帰したくてもなかなか復帰できない状況を改善してほしい。働く意思があっても子供がいるだけで就職が不利になるため。(女性.40代)

・子供が心の安定を得て成長していく過程で父親や母親や大人が適した関わりをしていれば、子供の記憶に残り子供が大人になったとき同じく、子供に大人としての関わりができていくと思う。甘くはないが子供の成長期に、片親に負担がかかっている様子を見て育つと家庭を持つことへの不安は湧くだろう(女性.40代)

・核家族世帯が一般的となった現代のニーズに合わせて子育て世帯が子育てと仕事を両立できる様な制度を充実してほしい。(男性.30代)

・女性が自立するために家事の分担(女がやるべき!!)を変える。意識改革が若い子達に必要。今の40代50代60代は直らないかと・・・保育は国や自治体が育てる子供として女性が働きながら子育て出来るように 17:00～19:30 保育は必要(男性と同じように働けない)土日にパパが子供を連れて参加する行事を増やす事で女性が育児から離れる時間を作るなど(女性.40代)

・女性が働くことは良いことだと思うけれど、仕事をするのが当たり前のようになって、子どもの気持ちを置きざりにする傾向もある気がしているので、私は 3 才児神話は大切にしたい方が良く思っている。子育てで十分女性は輝けるし、妊娠出産子育てを男性が軽視してきたことが過去の間違いで、働かないと女性は輝けない子育ては他人に任せる、という近年の傾向もどこかおかしいなと感じています。(女性.40代)

・高齢者の介護を担当するのは女性が多い。そのための離職も少なくない(男女で比較した場合、賃金からしてもどうしてもそうなりがち)離職しなくてよいように、介護施設の充実を図ってほしい。市政のさらなる改善を期待しています。(女性.60代)

<働く場・女性参画>

●女性管理職等が少ないのは女性の意識の問題ととらえる意見がある一方で、家事が女性の仕事とされたままの現状によるものとの意見がありました。また、男女の賃金格差の是正を求める声や、男女ともにワーク・ライフ・バランスが確保されるためには勤務時間や仕事量、働き方を見直す必要があるとの声もありました。

【ご意見】

・男女共に、勤務時間を見直し、人員を増やすか、または仕事量を減らすことをして、職場以外の場所にも居場所を持てるようにすることを提案します。市内の様々な活動に職員さんが“当事者”としても参加することで、市政に活かしていただけることが沢山あると思います。それが民間にも伝わっていくと嬉しいです。島根県での男女共同参画の取組を是非参考にされてください。(女性.30代)

・男女の賃金格差をなくすことが大事だと思う。育事のための休みも男女とも取れることを社会全体で考えること。民間、公務員もサバティカル制度※を法津化すると社会の働き方も活発になると考える(男性.40代)

(※サバティカル制度とは、使途に制限がない職務を離れた長期間の休暇を取るシステムを指します。)

・仕事につきたいけれど、なかなか一步が前に出せない。年齢が上になるほど、勇気が必要で不安が大きくなる人にきっかけとなることを考えていただきたいです。(女性.60代)

・いろんな事業において、役職につく人が男性ばかりの所に、女性も多くつける様に推進していく。(男性.60代)

・大半の女性は家事が多く、又それを理由に各活動に参加しない方も多数いるのも現実で、家庭の事を理由に欠席されると認めざるを得ない時も多々ある。しかし、重責を担う立場に女性がつくのが多くなると自治会等へも良い影響があって良いと思う。(男性.40代)

・女性の方にやって下さいと言うと無理ですと言われる。(男性.60代)

・女性も“もっと前に出る”と云う意識を持って欲しい。(男性.70代)

・「やりたい!」と思う女性を否定しない社会になっていくのは良い事だと思います。しかし、「やりたくない」と思っている女性を、女性の参加率を上げるために無理矢理やらせている場を職場で見かけますがこれはどうなのかと思っています。(男性.30代)

・全て男女共に参加する事が大事、リーダーや管理職など 1:1 の比率を目指す必要がある。(男性.40代)

・家事、育児、介護等を一方にまかせるのではなく、男女共に関わるような家庭づくりから始まり、職場でも性別で役割を決めず、人それぞれやりたい役割が選べる雰囲気づくりを大切にする職場になるように、上に立つ者(リーダー)が男女共同参画の意識を高めてほしいと願います。何を言っても変わらない集団にならないために。(女性.60代)

・私の母の世代では子を産んでも産休しか取れず、階段で搾乳しながら働いていましたが、このような活動のおかげで育休制度が出来仕事をやめずに続けられるようになりました。ありがとうございます。景気がよくなり、資金に余裕があれば女性にも男性にもやさしい社会になると思います。行政のみな様いつもありがとうございます。(女性.40代)

<地域・自治会>

●地域や自治会では男性主導で活動されることが多く女性の参画が進まない、根強く残る固定的な性別役割分担意識に息苦しさを感じるといった意見が寄せられました。男女共同参画の啓発・研修を実施することを求める声もある一方で、自治会の活動方法を見直すことで役員等のなり手不足に対応する必要があるといった意見もありました。

【ご意見】

・自治会員を対象に各種研修会等を積極的に開催するように実施計画を策定する。地域全体の人権意識を高める取り組みが必要と考える。(男性.80代以上)

・古くからの自治会なので年配の方も多く女性のみ活動(尼講等)以外は男性を長に置くのが通常で、それを改善するのはとても困難。核家族化が進む中で男性が病気等で動けなくなる限り女性が会合に出て意見を出す事はまずない。(女性.60代)

・男女の区別なく、発言したい事を発表出来る会合が行なわれる様にしてもらいたいと思います。(女性.80代以上)

・田舎ほどしきたりや神さま事など男しかダメというのがあるのでどうにかしてほしい。(女性.40代)

・自治会長に女性が出たら会議の席で「〇〇町は、男がいないのか」と言われたそうです。地域をまわす(重要なことは)のは男という考えが根底にあるようです。意識改革のためにも行政からどんどん啓発していただきたいと思います。(女性.70代)

・特に町の自治会で、女性の会長、副会長に入ってもらえればと思います。おおよそは男性の多い自治会であると思われるので、女性視点の柔軟な考え又、男性とは異なる考えにより何らかの解決策が出るかとも思います。女性参加ですと場の雰囲気も和らぐ様に思われます。(男性.60代)

・男女等以前に、自治会に参画しやすい社会づくりが必要だと思います。親が自治会に参画していますが、皆選ばれてしまったと押しつけ合いだそうです。まちづくりは、地域住民にとって重要であり、自治会は、地域住民の意見が反映できる唯一の場です。この大切さ面白さを住民に伝えることで、社会づくりに対する住民参画度は向上すると思います。公共の場である以上厳しいかもやけど、思い切って報酬を出すとか！give&takeの関係で良くなる社会の在り方もいいと思いました。(女性.20代)

・少子高齢化、地域での各種団体への参画不足、後任者不足に相まって役員のなり手がいない状況下であり、誰でも関われる体制づくりが必要と思われる(女性.70代)

・自治会活動は、以前婦人会があったころは性別役割分担として活動していた部分がありました。婦人会から解放された自治会は今も男性中心のままですが、女性がもっと参加するべきとか、自分が積極的に何かしようとは思っていないです。(女性.60代)

<男女共同参画推進員について>

●男女共同参画推進員についてよく知らない、活動内容が伝わっていないといった意見が多く寄せられました。男女共同参画推進員は各自治会に1~2名設置されており、自治会において男女共同参画を推進するために懇談会等を企画・実施いただいているところです。

【ご意見】

・名前だけの役員の方が多いと思います。役だから仕方がないという方が役を持っても何もならないと思います。女性だからといって甘えている面がよく見られ、もっと自覚を持って行動してほしい。しっかりなさっている方はいますが・・・。(女性.70代)

・町内の自治会公報で男女共同参画推進員が割り当てられているので名前は知っていますが仕事の内容まではよく知りません。(女性.60代)

・推進員の方が研修会などに出席して、レポートも提出したり自治会の住民の方たちに回覧したりしているが、いまひとつ関心があるようにはなりません。やはり無関心の方が多いのかもしれませんが。自治会でもっと具体的な活動が必要なのか。(女性.70代)

・①男女共同参画推進員は名前だけ。具体的な推進はされていない又年一回の集まりがあったが現在はないのでは?(市の事業として)②昔からの風習より中々女性の地位向上等、参画の機会が少ない感じがする(男性.80代以上)

<政治・行政>

●男女共同参画の取組を継続してほしいといったご意見のほか、もっと取組についてPRしてほしいとの意見を多くいただきました。

【ご意見】

・市、区、等の会議研修会など、堅苦しいものが多く、もっと気軽に参加できる様に考えるべきだと思う。(男性.70代)

・一般住民に対し研修会で意識改革をおこなう(女性.40代)

・私は近江八幡市の男女共同参画社会づくりの施策や事業について全く知りません。もっと何をしているのか発信して行くべきだと思うし、若い人たちにも知ってもらえるような取り組みが必要だと思います。また、私たちのような若い子たちは男女共同参画が求められる社会で様々な問題がある中、成長してきました。だからこそ20代・30代の意見もこの施策や事業を進めて行くにあた

って必要だと思います。(女性.20 代)

・共同参画と社会進出、政策方針決定は同じ目線で行なうべきものではない。男女共、社会へ自分が何に貢献できるかを考える機会を増やし、スキルの支援、活動へ参加するように誘導してはと思う。また、各種ハラスメント対策は、大変重要である。(男性.60 代)

・市の情報は、広報くらいしか知る機会がない。自身に必要なことであれば(保育園の入所など)、HP を調べたり、市役所の関係課に直接問い合わせる。しかし、問 27 の件に関しては、日常生活を送る上で必須要素となることがなく、もっと情報発信(市公式ラインや防災メールのような一方通行の発信でもよいと思います。)してもらわないと、なかなか興味・関心が持てない。(女性.30 代)

・男女共同参画の内容をもっと PR するべき。公報だけでなくパンフレット等で広く解る様に(男性.80 代以上)

・女性の市長が誕生すれば男女平等参画のいちばんのアピールになると思います。滋賀県は元知事も女性だったことですし、近い将来実現できそうではないですか。まずは市議員から男女半数ずつを目指すのが良いと思いますが、そのために立候補者をどのようにして確保していきましょうか。女性が立候補するハードルを下げる良い方法があればと思います。(男性.40 代)

・市長はもっと近江八幡の現在、将来について積極的に考えていただきたい。ノープランと思えるほど核となるものが伝わってこない。男女共同参画社会は必要なことであるが、市民の暮らしがもっと豊かにならないと役所仕事で終わってしまうのではないかと心配してある。(男性.40 代)

・女性、障害者の権利向上のためにもっと積極的に施策、事業を進めてほしい。(男性.60 代)

・男女共同参画社会づくりのための施策の推進は大変大事な事であり、推進して下さい。(男性.80 代以上)

・男女共同参画の計画と実施を専門とするプロジェクトチームを市職員と市内居住者の女性有志だけでつくり、市条例の見直しを含めた活動を行う。・・・これを市議会で議決する。行政だけで決める活動でなく、議会の議決も行い予算も付けた市重要課題事業とする。口先だけの間に合わせはダメ。(男性.70 代)

・「男女共同参画社会づくり」をどれくらいの人が施策、事業を知っているか・・・自身でも何をしてもどんな成果があるのか知らずに日々過ごしている。市の担当者が市民に理解出来るような説明や動きをしているのか見えて来なく自治会へ推進員を設置されていても名ばかりで伝わっていない。自治会役員選出において成り手がなく、負担としか感じない状況を知ってほしい。(女性.40 代)

・若い世代をバックアップする施策を増やすべき。今の高齢者は、かなり支援されているので、これ以上は不用(男性.40 代)

・アンケートなどの結果をもとにテーマ設定と、目標値やマイルストーンなどを明確にしてください。市民への研修は、自宅での学習が可能なツールの提供が必要かと思われます。また、取組活動

の周知としては、市開催のイベントなどを通じて男女共同の社会づくりを分かり易く説明すること
も必要ではないでしょうか。(男性.60代)

・事業に携わっておられる方がころころと入れ替わるのではなく専門的な人材を時間を掛けて育
成できるようにして欲しい。(女性.40代)

・問22に関して、男女間のトラブルは多岐にわたる。高齢夫婦の場合は、要介護者が弱者となり
配偶者から精神的暴力を受けることがある。被害者は相談窓口を知っていても、一人では相談に出
向けない状況があると考えられる。一方、加害者は罪悪感なしで発している可能性がある。この状
況に対し、人格否定の発言とは具体的にどのような発言なのか、広報などで紹介してほしい。でき
れば自宅で掲示できるポスターがよいと考える。近江八幡市の地域包括支援センターの活動は他の
市に比べ市民にあまり伝わっていないのが課題。(女性.40代)

<男女共同参画全般・その他>—————

【ご意見】

・私が以前働いていた職場(小学校)では男女が全く平等に扱われとても良かったと思っています
(女性.70代)

・いろいろと活動することは無意味ではない…と思うものの、根本的な意識を変えないとむずかし
いと思う。女性が一言発言しただけで「あの人は変わってるから」と、除外されるような社会の中
にいては、いくら、男女平等の研修等しても馬の耳に念仏状態。「女性を優先してやっている」と
いう上から目線な老人が増えているだけのように思えます。(女性.60代)

・男女共同参画社会というと専業主婦を否定するような社会をイメージしてしまう方もおられる
ようです。男性は～女性は～とする固定的な役割分業意識にとらわれず、お互いを尊重し、自由な
生き方を選択できる社会づくりが大切だと思います。女性を前に前にとする極端な考え方もどうか
なあと疑問を感じます。(男性.60代)

・男女関わらず少人数の人が何かの役割や負担を負うのではなく1人1人が少しずつ負担して様々
な役割を全員で分け合うことのできるシステム作りが必要だと思う。(女性.40代)

・男女共同参画を進めるためには、生活の根っこである地域での男女平等、男女共同参画の意識を
もっと高める取組が必要ではないかと思う。(男性.70代)

・男女共同参画社会基本法が施行されて、25年経つが、私達世代(60才～)の男女の意識が乏しい
と感じる。それ故、地域、家庭において男女の差があるように思う。若い世代の人達が、今後生活
するうえで、男女共同参画の社会をもっとしっかりと、作っていくべきだと思う。(女性.60代)

・問17のような問は疑問に思う。職業に参加するというよりも男女共に「生きがいをもてる」と
いうことが大切なのではないかと思う(性別無回答.年代無回答)

・女性の意識をまず向上させる研修が必要。地域の福祉的な役員は、女性が多いがコミセン等の役
員はどうしても男性が多い。活躍する女性もおられるので、そういう立場の後に続けるように女性
の起用を推進するとよい。(女性.60代)

・男女共同参画の社会づくりについては、研修もしていただいていることもあり、若い人たちの意識は随分変わってきていると思います。が、上の者を敬い謙虚さを美德とする教えを受けてきている高齢者には女性の進出のや意見を主張することなど、難しいところがあります。役割分担や役職分担など身近なところから行っていく中で変わっていくのかと思います。(女性.70代)

・高齢の女性が、地域活動等の取組で、よく参加していると思いますが、結局、そういった支援を受けたりするのは高齢の世代になるだけだと思います。男性、女性と言うのも分かりますが、若い子育て世代に助けになることをしていただきたいです。(女性.20代)

・地方自治体として色々な取り組みや努力をされていることには感謝します。ただ社会全体はまだまだ男性中心に動いています。主婦は家事をしながらパートで働く人が大半で、それに対する男性の協力も少ないように思います。女性も社会に参加することをしていかないといけませんが男性側の意識が変わっていくことを切望します(女性.60代)

・～すべきという言い方や考え方が、行動や考えを狭めている様で息苦しくなる。仕事をして家事や子育てのほとんどを担って、その上地域の自治会のことをもっと女性が参画すべきだ、女性がリーダーになる様勧めると言われると言われるだけで心底疲れる。仕事と家のあらゆることに手一杯なのにその上地域のことも(リーダー的なこと)になると本当勘弁してと思う。それくらい夫にして、と思って我家は自治会の出役は6対4の割合でしている。女性がずっと働くべきだという考えも女性の社会での地位を上げるためには必要かもしれないが何か息苦しくなる。(女性.40代)

<批判的・消極的・女性優遇>

●男女平等は既に実現しておりこれ以上の男女共同参画への取組は不要である、女性は既に優遇されており逆に男性は差別されているといったご意見がありました。家庭・職場・教育・政治など分野によって男女共同参画がどの程度実現されているかには差がありますが、本市ではあらゆる分野において男女共同参画が実現されるように取り組んでまいります。

【ご意見】

・今の現状、能力があればそんなに社会は問題なく男女問わず受け入れていると思う。(男性.60代)

・「男性だから」「女性だから」と区別することをできるだけなくせる取組に力を入れてほしい。女性の参画意識を問う項目や女性が増えた方がよい職業を問う項目があるが、「女性だから」ではなく、男女関係なく力のある人がすればよいと考える。市民の意識を調査するアンケートにおいていくつかの項目では「女性の方が地位が低い」という前提で作成しているようにも感じた。男女共同参画社会を目指すのであれば、まずは市としての意識を改める必要があるのではないか。(男性.30代)

・男女平等精神は良いと思いますが、もともと男性女性はいろんな点に於いて異なることを知って話しをすべきでは?意見を聞きたい。(男性.80代以上)

・長年、男女平等が叫ばれており、定着しているのではないか(男性.30代)

・女性はすでに優遇されている。さらに優遇する必要は無いと思う。(男性.40代)

・別のところにお金(税金)と労力をかけるべきである。このアンケートから、「男性は女性から差別を受けている。女性は優遇されている」という結果は導かれない。今の社会は女性優位になってしまっている。男性専用車両もほしい。(男性.年代無回答)

・「女性の身分が男性より低い」とうのは正しくはない。女性専用車があったり、男性トイレに女性清掃員が立ち入っても良いというように女性に対して優遇されていることはいくつか存在する。“男女平等”というのは完全には成し遂げられないと感じる。女性がもっと社会進出できるような環境を作るのは大切だが、男女平等な関係にまでは求めなくてよい。(男性.20代)

・歴史的にも男尊女卑がありなかなか女性が先頭に立つのは難しいのではないかと女子が活動するには時間がかかると思う。時代の流れを待つべきではないか?(男性.80代以上)

・不景気な今、男女共同参画社会等の話をするのではなく、もっと必要な事があると思う。(男性.30代)

・無理にする必要はない。(男性.40代)

<アンケートについて>

●アンケートについては質問数が多いこと、アンケート用紙を郵送すること等についてご意見をいただきました。アンケートはオンラインで回答いただくことが難しい方にもご回答いただけるよう郵送にて配布し、回答方法についてはオンライン回答とアンケート用紙の郵送返信による回答を併用して実施しました。

【ご意見】

・男女共同参画についてはしっかりと取り組んで欲しいと思います。

市役所に提言。アンケート項目が多すぎて回答に時間を要する、回答者の事をもっと考えてアンケートを作ってください。回答率を上げるためにも何でもかんでも聞くのではなく本当に聞きたいこと、聞かなければならない事に絞ったアンケートに改善してください。そうでなければ次回からアンケート協力できません。(男性.60代)"

・今回のアンケートは長すぎるし、最後まで行くのに苦痛であった。(男性.60代)

・これまでの歴史があるので女性を意識したものが多くと感じられるが男性女性、その他関係なく参画できるものと望みたい。明らかに答えがわかっているようなアンケートの質問でがっかり、もっと前向きな施策や事業ができるよう幅広い考えやアイデア、工夫を期待したい。(女性.70代)

・こんなあたりまえみたいなことを市の金を使って紙代、郵送代、を使ってアンケートを取る必要があるのか疑問です。この文章を一つ一つ読んでいるのかもわかりませんが。もう少しお金の使い方を考えてください。アンケートをとるなら、市政についてのアンケートなどを取るなどして下さい(男性.30代)

〔2〕事業所アンケート

問 18 事業所として男女共同参画の取組があれば、ご記入ください。（アンケートの回答内容について補足等がある場合も、こちらにご記入ください。）

- ・事業所として男女共同参画の取組意識が低い。経営者側を対象とした研修・セミナー等の実施。（卸売・小売業）
- ・女性の働き方についてキャリアプランを見える化できる取組を行いたい。（その他サービス業）
- ・事業部の一つにガソリンスタンドがある。男性の多い職場ではあるが、女性が活躍することも多い仕事。働きやすい環境の整備、管理職を設ける、女性の活躍もほめる等、女性にとっても働きやすい職場を意識している。男女平等に評価している。（卸売・小売業）
- ・家庭では、いまだに子供の体調不良などで仕事を休むのは女性になっている。また、女性は、いくら父親と一緒にとはいえ体調不良の子供をおいて仕事をする事への心的負担がある。啓発もよいが保育園や病児（小学生まで）保育、介護施設の充実を期待しています。（医療・福祉）
- ・女性起業家コミュニティスペースを先日オープンしております。従業員は代表の男性 1 人です。商工会議所や商工会、市の広報や商工振興課と連携、近江八幡市や安土、甲賀や彦根のコミュニティや起業家の交流会に参加し、仲間集めをしています。（その他サービス業）
- ・新しい仕事やポストについて意欲のある方に男女の区別なく自主的にチャレンジできる環境づくりをしております。（製造業）
- ・業界的に女性の活躍は当たり前という風潮である。（医療・福祉）

問 19 最後に、近江八幡市の男女共同参画のためのまちづくりについてご意見がありましたら、自由にお書きください。

- ・男女を問わず、安心して働くことが出来るまちづくりを推進願いたい。必要に応じ一定の世帯には補助金を支給する等の施策により、家庭を支援することも併せてお願いしたい。（製造業）
- ・管轄が違うかもしれませんが、お仕事探し、保活直前応援ウィーク、合同企業説明会を年 1 回女性活躍推進でされておられますが、人材確保の為、求人者子育て女性の為にも年 2 回程度できないでしょうか。（卸売・小売業）
- ・パワハラ相談先がありません。管理者のパワハラがひどく困り果てています 助けてください（医療・福祉）
- ・女性の起業化を促すための経済的な環境づくり。政策の充実。女性中心の社会づくり。（卸売・小売業）